



2013年2月14日

<報道発表資料>

## アメリカン航空と **US** エアウェイズが最大級のグローバル航空会社を 設立 新生アメリカン航空が誕生

- ◆ お客様にはグローバルな路線網拡大と新しい機材、技術、商品、およびサービスへの投資によるメリットを提供
- ◆ 合併後はワンワールド・アライアンスを拡充、シームレスなグローバル路線網を提供
- ◆ マイル獲得と特典交換の機会を拡大しロイヤルティプログラムのベネフィットを改善
- ◆ 合併により待遇改善が可能になり、両社の従業員の長期的な機会も向上
- ◆ 合併後もすべてのハブと目的地へのサービスを維持する予定
- ◆ 2015年の年間相乗効果は10億ドルを超え、両社の関係者にとっての価値を創造
- ◆ 債権者が債権を回収できる可能性が拡大
- ◆ **AMR** の株主は合併後の普通株のうち **72%**、**US** エアウェイズの株主は **28%**を持つ予定
- ◆ 世界的に認知度の高い印象的なアメリカン航空ブランドを保持
- ◆ 本社はダラス・フォートワースに設置、フェニックスにも重要な会社運営とオペレーション機能を配置

米国テキサス州フォートワースおよびアリゾナ州テンピ発（2013年2月14日）ーアメリカン航空（本社：米国テキサス州フォートワース）の親会社である **AMR** コーポレーション（同）と **US** エアウェイズ・グループ（本社：米国アリゾナ州テンピ）は、両社を合併し、**US** エアウェイズ株式の2013年2月13日現在の時価に基づき約110億ドルの時価総額を持つグローバルな航空会社を設立する合併契約を両社の取締役会が満場一致で承認したと発表しました。

合併後の航空会社は世界で広く認識されているブランドであるアメリカン航空の名の下に運航し、強力なグローバル路線網と強固な財務基盤を持つこととなります。この合併により両航空会社の乗客、コミュニティ、投資家、債権者、および従業員にメリットがもたらされます。合併後の会社が持つさらに拡大したワールドワイドな路線網に加え、アメリカン航空が創立メンバーの1社であるワンワールド・アライアンスを通じてさらに多くの選択肢と改善されたサービスが実現します。合併後の航空会社は600機を超える

主要路線向け機材の発注をすでに確定しており、業界最新かつ最も効率の高い機材グループと共に、技術、商品、およびサービスへの投資を継続するための強固な基盤を確保しています。

合併後の会社の取締役会会長はアメリカン航空会長兼社長兼最高経営責任者(CEO)のトム・ホートン(Tom Horton)が第1回の株主総会終了まで務め、またワンワールド・アライアンスへ対しても合併後の会社の代表を務めます。ホートンは現在、同アライアンスの会長であり、また同じ期間を通じて国際航空運送協会(IATA)の会長も務めます。USエアウェイズの会長兼CEOであるダグ・パーカー(Doug Parker)はCEOに就任し、取締役も務めます。また、ホートンの任期が満了した後は取締役会会長を兼任する予定です。取締役会は当初12名のメンバーから構成され、アメリカン航空からトム・ホートンを含む3名、USエアウェイズからダグ・パーカーを含む4名、およびAMR債権者から5名の代表が加わります。

合併契約の条件に基づき、USエアウェイズの株主は合併の時点で保有するUSエアウェイズ普通株1株あたり1株の合併後の会社の株式を受け取ります。USエアウェイズの(株主、転換社債保有者、オプション保有者、および制限付き株式の保有者を含む)証券保有者に対して発行される合併後の航空会社の普通株合計は、合併後の航空会社の希薄化後株式の28%に相当する予定です。合併後の航空会社の希薄化後株式のうち残りの72%は、AMRと米国破産法第11条手続きに基づく救済措置を申し立てたその債務子会社(「AMR債務者」)、アメリカン航空の労働組合、および現時点でのAMR従業員に対して発行されます。

この合併は、ニューヨーク州南地区米国破産裁判所において米国破産法第11条の下で現在審理中の案件の一部である、AMR債務者の再生計画(「AMR再生計画」)に基づき行われます。このAMR再生計画は米国破産法の規定に基づく承認が前提となり、またそれに従って完了されます。

この合併契約に関連して、AMRは米国破産法第11条手続き申請以前に約12億ドルの無担保請求権をAMR債務者に対して保持していた、特定の無担保債権者との間に支援契約を締結しました。この支援契約に基づき、この契約を締結した債権者は一定の条件を前提として、合併を実施し、また債権者間および会社間の特定の請求権について妥協と調停を実施することとなっているAMR再生計画を支援することに同意しています。AMR債務者に対する米国破産法第11条手続き申立以前の無担保請求権の取り扱い、およびAMRの証券に関連した既存の利権の取り扱いに関するこの支援契約の条項については本文中の該当セクションにまとめています。

合併後の航空会社は56カ国、336カ所の目的地に向け、毎日6,700を超える便を運航することになります。現在アメリカン航空とUSエアウェイズが持つすべてのハブを維持する予定で、お客様の旅行の選択肢がさらに拡大します。両社が所有する地域航空会社—AMRコーポレーションが所有するアメリカン・イーグル航空(American Eagle)とUSエアウェイズのピードмонт航空(Piedmont)およびPSA航空—は引き続き個別の航空会社として運航を継続し、合併後の航空会社にシームレスなサービスを提供します。新会社はダラス・フォートワースに本社を置き、またフェニックスにも重要な会社運営とオペレーションの機能を配置する予定です。

アメリカン航空会長兼社長兼最高経営責任者(CEO)のトム・ホートンは、次のように述べています。「本日、世界最大級の航空各社と競争し、勝利を収める準備を整えた、グローバルなプレミアム航空会社として新しいアメリカン航空の誕生を誇らしく思います。両社の合併を通じ、お客様、投資家、パートナー、数多くの就航先であるコミュニティ、および従業員を含め、すべての関係者にさらに良い結果をもたらすこ

とができる体制が整いました。」

「アメリカン航空と US エアウェイズの合併によって 2 つの最も補完的な、また世界中で最良の目的地に就航している路線網が合わさり、利便性の高い乗り継ぎと快適な旅行をお客様に提供する確固たる基盤が得られました。合併後の航空会社が持つ優れた運航と強力な財務力により新しい商品や技術への投資を継続し、健全なキャッシュフローと持続可能な高収益性を通じて新たな機会を従業員にもたらすことができると期待されます。」

「過去 1 年間を通じ、アメリカン航空のチームは効率的な事業再生を通じ、長期的な成功のための極めて強固な基盤を確立してきました。このプロセスの一環として、数カ月にわたる徹底した分析とすべての選択肢の検証の後、この合併が会社にとって最善の結果をもたらし、財務面における利害関係者への最高の価値創造の実現だけに留まらず、長期的に持続可能な成功を得るための準備を整えるものであるとの結論に至りました。」

「この合併により債権者の皆様が債権の全額を回収できる見込みが高まりました。また、株主の皆様に合併後の航空会社の株式のうち少なくとも 3.5%を提供する AMR 再生計画に対し、無担保債権者のうち相当な割合の皆様から支援を得られたことを喜ばしく受け止めています。株主にとって実質的な回収が実現することは米国破産法第 11 条のケースでは稀であり、また最近の航空会社の再生においては前例がありません。25 年来の友人であるダグ・パーカーおよび両社の経営陣と協力し、円滑に統合を果たすと共に新しい業界リーダーを創り出すことを楽しみにしています。」

US エアウェイズの会長兼 CEO であるダグ・パーカーは、次のように述べています。「本日はアメリカン航空と US エアウェイズにとって、新しい章の幕開けとなる日です。アメリカン航空は世界で認められたブランドです。合併後の航空会社はグローバルな市場においてより効果的に、また利益を上げながら競争することのできる規模および能力を備えた航空会社となります。合併後の路線網はお客様にとっての魅力を大きく高めたものとなり、皆様のご希望の目的地へいつでもご旅行いただけるようになります。」

パーカーは次のように続けました。「本日の発表はトム・ホートンとアメリカン航空のチームによる、過去 1 年間にわたる取り組みがあって初めて実現したものです。アメリカン航空とその従業員の長期的な成功をトムほど願っている人はいません。事業再生とこの合併の成功を通じ、トムとアメリカン航空のチームは、新しいアメリカン航空がグローバルなプレミアム航空会社となるための優れた基盤を築き上げました。アメリカン航空を将来の成功に向けて最善の位置に置くためトムが払ったあらゆる努力に感謝すると共に、この移行を支援するためトムが取締役に留まることに合意してくれたことを心より歓迎いたします。」

「US エアウェイズとアメリカン航空両社の従業員にとっては特に喜ばしいことと思っています。この合併を通じて一層強固な航空会社となり、待遇改善を可能にし、またすべての従業員にとっての長期的な機会がもたらされます。両社の労働組合からの支援と共に、誠実な取り組みとビジョンを提供してくれたリーダー諸氏に感謝しています。従業員の明るい未来と、お客様へのサービス向上および選択拡大の実現を楽しみにしています。本日の発表により、ひとつのチーム、ひとつの新しい航空会社としての新たな道のりが始まりました。」

## お客様にとっての選択肢の拡大、フライト数の増加、快適な空の旅のさらなる向上

この合併によりアメリカン航空と US エアウェイズの相互に補完的な路線網が合わさり、効率が改善すると共にお客様にとっての選択肢が拡大します。この結果として、他のグローバル航空会社に対し大きな競争力を持つこととなります。また、両社を合わせた路線網では上級顧客の皆様にとってのスケジュールの幅が大きく広がります。

新会社においては以下の項目が期待されます。

- 米国東海岸のシャトル便を含め、東海岸と中部地区をつなぐ最も多数のサービスを提供し、新会社の競争力を拡大
- 米国西部でのプレゼンスを拡大し、路線網をさらに強化
- 中南米とカリブ海地域での業界リーダーとしての地位を強化
- 大西洋路線でのブリティッシュ・エアウェイズとイベリア航空、および太平洋路線での日本航空とカントラス航空との共同事業を含めたワンワールド・アライアンス内での接続性を強化し、米国内線および国際線におけるさらなる選択肢とメリットを提供
- 欧州と中東地域の 21 の目的地へ運航。アメリカン航空と US エアウェイズ両方が現在所有しているハブを維持し、お客様にとっての選択肢を拡大
- 両航空会社がすでに持つハブを経由したトラフィックの流れを改善
- これらのハブ発着の便を拡充し、既存市場への運航を拡大すると共に新たな目的地にも就航
- すべてのお客様にとっての快適性と接続の利便性を改善する画期的なイニシアティブを通じ、業界をリードする旅行体験を提供
- 合併した路線網全体にわたってマイル獲得と特典交換の機会を拡大し、ロイヤルティプログラムのベネフィットをさらに改善

またアメリカン航空がエアバスとボーイング両社との間に交わした、今後 4 年間にわたってアメリカン航空の機材グループを刷新するための画期的な契約により、今後 10 年間を対象とした合併後の航空会社の機材計画が確立されました。合併後の会社は 600 機を超える新しい航空機受領を予定しており、これには 517 機のナローボディ機と 90 機の国際線向けワイドボディ機が含まれ、その大半には延べ何千時間もの番組を提供する先進的な機内エンターテインメント、世界中で利用可能な機内 Wi-Fi、およびエコノミークラスの足回りのスペースを 10–15 センチ拡大した「メイン・キャビン・エクストラ (Main Cabin Extra)」シートが装備されます。また今年中に受領が予定されている新しいボーイング 777-300ER 型機とエアバス 321 Transcontinental 型機では、完全に水平になるライフラットシート、全席通路に面したファーストおよびビジネスシートも用意されます。アメリカン航空はまた合併後の新会社において、既存の 777-200 型機と 767-300 型機にも US エアウェイズのエアバス 330 型機による国際 Envoy 便と同様のライフラットシートをファーストおよびビジネスクラスに設置する計画です。

フライトの予約や変更、その他の管理、およびマイレージプログラムの手続き等は引き続き AA.com または USAirways.com にて行うことができ、AAdvantage と Dividend Miles によるすべての特典が従来と同じく提供されます。現時点においてはどちらの航空会社のマイレージプログラムについても、合併契約に伴う変更は予定されていません。いずれのプログラムのマイルも引き続き有効です。口座の統合や特典の調整などプログラムに関する今後の変更については、合併が承認された時点で両プログラムのメンバーの皆様にお伝えします。

## 従業員にとっては長期的な待遇改善

合併後は、さらに競争力の高い安定した財務基盤を持つ企業に所属することによるメリットがもたらされ、そのことを通じて長期的に大きな就業の機会がもたらされます。両社の従業員には、早急に相互の航空会社の特典利用を可能にします。この合併はまた、従業員の待遇改善の実現を可能にします。

パーカーは次のように述べています。「誇りある歴史を持つ両社が協力し、従業員が優れたカスタマーサービスと財務面での成果に向けて力を発揮することにより、ひとつのチームが生まれます。アメリカン航空と US エアウェイズの人々の努力により、かつてない明るい未来の見通しを得ることができました。」

先に発表されたとおり、アメリカン航空のパイロット、客室乗務員、地上職員、および US エアウェイズのパイロットを代表する労働組合は、合併締結と共に発効する改善された団体交渉契約に合意しています。さらに US エアウェイズの客室乗務員労働組合との間には暫定的な合意が得られ、これには合併の支援も含まれています。アメリカン航空のパイロットおよび客室乗務員の労働組合は、US エアウェイズ側の対応する労働組合とそれぞれ連携し、代表者と共に単一の合意プロトコルを決定します。

## 株主へ大きな価値を提供

アメリカン航空の利害関係者と US エアウェイズの株主には、各社が 2013 年について予測している業績に基づき約 400 億ドルの売上を計上すると予想される、合併後の航空会社が持つ大きな業績改善能力からの恩恵が期待されます。アメリカン航空の利害関係者には価値の増加が、また US エアウェイズの株主には 2014 年までに 1 株あたり利益の大幅な拡大が期待されています。

この合併に伴い 2015 年には年間 10 億ドルを超える相乗効果が生まれると期待され、これには主にスケジュールと接続性の改善による乗客数拡大、高収益ビジネスの比率拡大、および需要に応じた使用機材の再編成による 9 億ドルの路線売上拡大効果が含まれています。アメリカン航空と US エアウェイズを合わせた新しい労使協約の影響を差し引いて、約 1 億 5,000 万ドルの相乗効果がコスト面で発生すると推定しています。合併に伴う移行コストはワンタイムで約 12 億ドルと予想され、これは今後 3 年間にわたって発生します。

前述の AMR 債務者に対する米国破産法第 11 条手続き申立以前の無担保請求権の取り扱い、および AMR の証券に関連した既存利権の取り扱いに関するこの支援契約の条項を以下にまとめています。

- AMR の証券に関連した既存利権の保有者は、計画発効日において合併後の航空会社の普通株のうち合計 3.5%を受領し、米国破産法第 11 条手続き申立以前の無担保請求権の保有者が受領した普通株の価値がその請求権全額を充足する場合にはさらに株式を受領する可能性があります。
- 「ダブルディップ」と呼ばれる債権者（直接か間接かを問わず、AMR とアメリカン航空の両方を債務者とする米国破産法第 11 条手続き申立以前の無担保請求権の保有者）は、その請求額全額に等しい、転換義務付け優先証券を受領します。この証券は合併後の航空会社の普通株の市価に連動した計

算式に基づき、計画発効日から 120 日間にわたり 30 日ごとに合併後の航空会社の普通株に転換されます。

- 「シングルディップ」と呼ばれる債権者（保証されていないチャプター11 手続き申立以前の無担保請求権の保有者）は、「ダブルディップ」債権者が受領する転換義務付け優先証券と同じクラスの証券、および合併後の航空会社の普通株の組み合わせを受領します。
- アメリカン航空の労働組合とその他の従業員は、AMR 債務者に対する米国破産法第 11 条手続き申立以前の無担保請求権保有者に最終的に配付される、合併後の航空会社の普通株のうち合計 23.6%を受領します。

上記の支援契約は特定の状況において解除することができ、これには AMR 債権者が AMR 再生計画の承認と完了に向けた特定のマイルストーンを達成できないことが含まれています。

## 合併完了までの道のり

この合併にはニューヨーク州南地区米国破産裁判所による承認、法規に基づく承認、US エアウェイズ株主による承認、一般的な契約締結条件が満たされること、および AMR 再建計画の承認と完了が前提となっています。合併は 2013 年第 3 四半期中に完了の見込みです。契約締結から完了までの間、両社の経営陣から構成される移行計画チームにより、円滑かつ持続可能な移行のための統合計画が慎重に策定されます。

## 顧問団

アメリカン航空の財務顧問は Rothschild が、法務顧問は Weil, Gotshal & Manges LLP、Jones Day、Paul Hastings、Debevoise & Plimpton LLP および K&L Gates LLP が務めます。US エアウェイズの財務顧問は Barclays and Millstein & Co. が、法務顧問は Latham & Watkins LLP、O'Melveny & Myers、Cadwalader、Wickersham & Taft LLP、および Dechert LLP が務めます。Unsecured Creditors Committee の財務顧問は Moelis & Company と Mesirow Financial が務めます。Unsecured Creditors Committee の法務顧問は Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flom LLP と Togut, Segal & Segal LLP が務めます。

## 税優遇措置保全計画

合併契約締結と共に、US エアウェイズは同社および AMR との合併による新会社が持つ、純営業損失およびその他の繰り延べ税優遇措置の価値を保全することを目的とした、税優遇措置保全計画を導入することも発表しました。この税優遇措置保全計画は直ちに発効し、合併完了以降に存続することはありません。この計画は US エアウェイズの投資家の変更に伴い、US エアウェイズまたは合併後の会社が将来的に税優遇措置の利用を制約され、それによってすべての株主への価値が大きく毀損される恐れを軽減することを目的としたものです。

この計画の一環として、US エアウェイズ取締役会は発行済み US エアウェイズ株式 1 株あたり普通株 1

株の購入権（「購入権」）提供を配当として宣言しました。この購入権は US エアウェイズ取締役会または他の許可例外の承認を得ることなく個人またはグループとして行使することができ、US エアウェイズの発行済み株式のうち 4.9%またはそれ以上の受益所有権を取得することになります。この購入権はまた US エアウェイズ普通株のうち 4.9%またはそれ以上の受益権をすでに所有する個人またはグループにより、取締役会または他の許可例外からの承認を得ることなく行使し、（配当または株式分割の結果以外に）株式を追加取得することもできます。この購入権が行使可能となった時点において、購入権発効を引き起こした個人またはグループを除く購入権保持者には US エアウェイズ普通株を半額で購入する権利が与えられません。購入権発効を引き起こした個人またはグループが持つ権利は無効となり、行使することはできなくなります。この購入権は合併完了または合併契約の解除を含め、特定の事象が発生した時点で直ちに失効します。また同じく純営業損失およびその他の繰り延べ税優遇措置の価値を保全するため、合併後の会社の基本定款には合併完了時点およびそれ以降に有効な株式の取得と売却に関する制約が組み込まれます。

この税優遇措置保全計画に定められた 4.9%に近い、またはそれ以上の所有権を持つ US エアウェイズ株主の皆様には、その条項を慎重にご検討いただくようお願いいたします。この計画の詳細については US エアウェイズが本日米国証券取引委員会に提出するフォーム 8-K をご覧ください。

### ウェブサイト

この合併のメリットに関するその他の情報は、両社が新たに開設した [www.newAmericanarriving.com](http://www.newAmericanarriving.com) サイトに掲載されています。また [www.aa.com/arriving](http://www.aa.com/arriving) と [www.usairways.com/arriving](http://www.usairways.com/arriving) でも詳細についてお伝えしています。

### カンファレンスコールとウェブキャスト

アメリカン航空と US エアウェイズの経営陣はこの合併について、2013 年 2 月 14 日 8:30AM（東部時間）/5:30AM（太平洋時間）にカンファレンスコールを開催します。このカンファレンスコールへの参加をご希望の方は、コール開始の少なくとも 20 分前までに (877) 681-1320（米国内ダイヤルイン）または(973) 935-2840（米国外ダイヤルイン）へ電話をお掛けのうえカンファレンス ID# 99288242 をお使いください。このカンファレンスコールのリプレイは 2013 年 3 月 14 日まで、(800) 585-8367（米国内ダイヤルイン）または(404) 537-3406（米国外ダイヤルイン）にてカンファレンス ID#99288242 を使ってお聴きいただけます。また [www.aa.com](http://www.aa.com) と [www.usairways.com](http://www.usairways.com)、および新しい共同ウェブサイトの [www.newAmericanarriving.com](http://www.newAmericanarriving.com) の Investor Relation セクションでは、このカンファレンスコールのリプレイをスライドと共にご視聴いただけます。

### 記者会見およびウェブキャスト

トム・ホートンとダグ・パーカーはこの合併について、2013 年 2 月 14 日 11:00AM（東部時間）/8:00AM（太平洋時間）に記者会見を開催します。この記者会見のビデオは [www.aa.com/201302Press](http://www.aa.com/201302Press) にてライブで提供され、またリプレイは [www.newAmericanarriving.com](http://www.newAmericanarriving.com) でご覧いただけます。

### アナリスト向けランチョンとウェブキャスト

アメリカン航空と US エアウェイズの経営陣はこの合併について、2013 年 2 月 14 日 12:00PM（東部時間）/9:00AM（太平洋時間）に開催する投資家およびアナリスト向けランチョンでもご説明します。このランチ



ョンのウェブキャストは [www.aa.com](http://www.aa.com) と [www.usairways.com](http://www.usairways.com)、および新しい共同ウェブサイトの [www.NewAmericanArriving.com](http://www.NewAmericanArriving.com) の投資家向けセクションにてご覧いただけます。

### 素材映像 (B-roll)

B-roll は以下のリンクからご覧いただけます。

アメリカン航空 : <https://vimeo.com/59532586>

US エアウェイズ : <https://vimeo.com/59421912>

### アメリカン航空について

アメリカン航空は 50 以上の国と地域において 260 を超える空港を結び、世界中で卓越した旅行体験を提供することに注力しています。900 機近い機材により、シカゴ、ダラス/フォートワース、ロサンゼルス、マイアミ、およびニューヨークのハブから毎日 3,500 便以上を運航しています。アメリカン航空はロンドン、マドリード、サンパウロ、および東京をはじめとする重要な市場を含め、100 カ所近い米国外の目的地に便を運航しています。今後納入が継続されるボーイング 737 型機ファミリーとボーイング 777-300ER 型機やエアバス A320 ファミリーなど、500 機を超える新しい機材により、米国の大手航空会社として最も機体年齢が若い最新の機材群を確保する予定です。アメリカン航空のウェブサイト [AA.com](http://AA.com)®では料金を容易に確認したうえで予約を行うことができ、またそれぞれのお客様に合わせたニュース、情報、および旅行商品のオファーが提供されています。世界で人気を集めているマイレージプログラムのひとつであるアメリカン航空の AAdvantage® は、世界中の約 950 カ所にわたる目的地への便についてマイルを獲得することが可能で、フライトのアップグレード、パッケージパッケージ、レンタカー、ホテル、およびその他のリテール商品を利用できます。さらに世界中の約 40 の空港に Admirals Club®が設置され、快適さ、利便性、およびお客様が妨げられることなく仕事を続けることのできるようすべてのサービスを備えた環境が提供されています。アメリカン航空が創設メンバーの 1 社であるワンワールド・アライアンスには、ブリティッシュ・エアウェイズ、キャセイパシフィック航空、イベリア航空、日本航空、LAN 航空、およびカンタス航空を含む世界有数の航空会社が加盟しています。加盟航空会社を合わせ、156 の国と地域の 840 以上の都市に毎日 9,000 以上の便を運航しています。アメリカン航空では、ツイッター (@AmericanAir) と Facebook (Facebook.com/AA) も導入しています。American Airlines, Inc.と American Eagle Airlines, Inc.は AMR Corporation の子会社です。AMR Corporation の普通株はシンボル「AAMRQ」として、OTC Markets Group が運営する OTCQB 市場にて取引されています。

### US エアウェイズについて

US エアウェイズは US Airways Shuttle および US Airways Express と共に 1 日あたり 3,200 近い便を運航し、米国、カナダ、メキシコ、欧州、中東、カリブ海地域、中米、および南米の 200 を超えるコミュニティに就航しています。同社は世界中で 32,000 人を超える航空専門家を雇用し、エアバスによる世界最大の機材群を運航すると共に、193 カ国の 1,356 の空港に 1 日あたり 21,500 を超える便を運航するスターアライアンスのメンバーでもあります。US Airways Express パートナーと併せて年間に約 8,000 万人の乗客を運び、またノースカロライナ州シャーロット、フィラデルフィア、およびフェニックスにハブを置き、ワシントン DC のロナルド・レーガン・ワシントン・ナショナル空港をフォーカス都市としています。Aviation Week and Overhaul & Maintenance 誌からは、優れた実績と技術面でのイノベーションに対して 2012 Aviation Maintenance, Repair and Overhaul (MRO) of the Year Award が授与されています。Military Times Edge 誌は 2011 年と 2012 年に、US エアウェイズを Best of Vets employer に選びました。LATINA Style 誌の 50 Report では、3 年連続で米国で最も働きたい企業 50 社のひとつに選ばれています。US エアウェイズはまた 6 年連続で、Human Rights Campaign Corporate Equality 指標において 100%を達成しています。この Corporate Equality 指標はレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、およびトランスジェンダーの従業員と乗客への企業の態度とポリシーに関する主要指標のひとつとされています。US エアウェイズの詳細については [usairways.com](http://usairways.com)、@USAirways (ツイッター)、または [Facebook.com/USAirways](http://Facebook.com/USAirways) をご覧ください。

### その他の情報と入手手段

本プレスリリースは、何らかの証券の販売オファーまたは購入勧誘、または何らかの投票または承認の勧誘を構成するものではありません。AMR Corporation (「AMR」) と US Airways Group, Inc. (「US Airways」) の合併案は検証のため US エアウェイズの株主に提出されます。AMR は AMR の目論見書と US エアウェイズの委任状を含むフォーム S-4 を米国証券取引委員会 (「SEC」) に提出し、US エアウェイズは Schedule 14A に基づく最終版委任状を SEC に提出する予定です。AMR と US エアウェイズはまた本提案されている合併に関連したその他の資料も SEC に提出の予定です。SEC に提出されるこれらの委任状、目論見書、およびその他の関連資料には提案されている合併に関する重要事項が含まれているため、US エアウェイズへの投資家および株主の皆様にはこれらの資料が入手可能となった時点でその全文に慎



重に目を通していただくようお願いします。投資家と株主の皆様は、AMR と US エアウェイズに関する重要事項が記載された委任状、目論見書、およびその他の資料が SEC に提出された後、SEC のウェブサイト (<http://www.sec.gov>) からこれらの資料を入手していただけます。US エアウェイズが SEC に提出した資料はまた、これらの資料が入手可能となった時点で US エアウェイズのウェブサイト ([www.usairways.com](http://www.usairways.com)) から、あるいは US Airways Group, Inc., 111 West Rio Salado Parkway, Tempe, Arizona 85281, Attention: Vice President, Legal Affairs 宛てに書面でご請求いただくことにより無料で入手していただけます。

AMR が SEC に提出した資料は、これらの資料が入手可能となった時点で AMR のウェブサイト ([www.aa.com](http://www.aa.com)) から、AMR Corporation, P.O.Box 619616, MD 5675, Dallas/Fort Worth International Airport, Texas 75261-9616, Attention: Investor Relations 宛てに書面で、あるいは [investor.relations@aa.com](mailto:investor.relations@aa.com) 宛てに電子メールでご請求いただくことにより無料で入手していただけます。

US エアウェイズ、AMR、およびそれぞれの会社の取締役、役員、および経営陣のうち特定の者は、この提案されている合併に関連した US エアウェイズ株主による委任状勧誘への参加者と見なされる場合があります。US エアウェイズの実務取締役と役員に関する情報は、2012 年 4 月 27 日に SEC に提出された 2012 年度年次株主総会の委任勧誘状に記載されています。AMR の取締役と役員に関する情報は、2012 年 2 月 15 日に SEC に提出された、2011 年 12 月 31 日を末日とする会計年度のフォーム 10-K による年次報告書に記載されています。これらの資料は上記のソースから無料で入手していただけます。委任状勧誘への参加者、および証券の保持を通じるか否かにかかわらずそれらの人々の直接および間接的な利権に関するその他の情報は、提案されている合併に関連して SEC に提出される目論見書、委任勧誘状、およびその他の関連資料に記載されます。

#### 将来予測に基づく表明に関する注意書き

本プレスリリースには Private Securities Litigation Reform Act of 1995 の意味の範囲内における将来予測に基づく表明が含まれています。このような将来予測に基づく表明は「可能性」、「予定」、「期待」、「意図」、「予測」、「確信」、「推定」、「計画」、「予想」、「〜し得る」、「〜は必ずである」、「〜であろう」、「引き続き」、「求める」、「目標」、「ガイダンス」、「見直し」、およびその他同様な語句によって特定されることがあります。これらの将来予測に基づく表明は AMR および US エアウェイズの現時点における目標、確信、および期待に基づくものであり、実際の結果や財務状況、特定の事象の発生タイミングを将来予測に基づく表明に含まれる内容とは大きく異なったものとなし得る相当なリスクと不確かさが伴います。実際の結果と財務状況、および特定の事象の発生タイミングを将来予測と大きく異なったものとなし得る要因には以下のものが含まれ、ただしこれらには限られません。提案されている合併の実施失敗、締結、統合、再編、および期待される相乗効果達成に伴う課題とコスト、鍵となる従業員を引き留められないこと、および US エアウェイズと AMR の SEC への提出資料に記載されたもの、特にそれぞれのフォーム 10-K による年次報告書、フォーム 10-Q による四半期報告書、フォーム 8-K による最新の報告書、および登録書面、委任勧誘状、および目論見書を含むその他の SEC への提出書類の「Risk Factors」および「Management's Discussion and Analysis」登録書面、委任勧誘状、および目論見書を含むその他の結果や財務状況、特定の事象の発生タイミングを将来予測に基づく表明に含まれる内容とは大きく異なっ」セクションに記載されたものを含めてその他 US エアウェイズと AMR の業務全般に影響を及ぼす経済的、事業上、競合上、あるいは規制関連の要因。すべての将来予測に基づく表明はその発表の日付、または書面に記載された日付現在においてのみ有効です。AMR と US エアウェイズはいずれも、法により定められたものを除き、将来予測に基づく表明に影響を及ぼす実際の結果、前提事項の変化、あるいはその他の要因の変化を反映して、将来予測に基づく表明を公に更新する、あるいは補足する義務は負いません。

###

#### アメリカン航空に関する報道関係者のお問い合わせ先:

ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社

木下 雄亮

電話: 03-5427-7328

[ykinoshita@webershandwick.com](mailto:ykinoshita@webershandwick.com)

加藤 祐子

電話: 03-5427-7378

[ykato@webershandwick.com](mailto:ykato@webershandwick.com)

ギャリー・コンウェイ

電話: 03-5427-7353

[gconway@webershandwick.com](mailto:gconway@webershandwick.com)